らなかった。何かと

うになった。国も市民も大 ティア元年」と言われるよ

して明確な情報は入

の放送の後、遅々と てきた。しかし、そ 者が出た、と聴こえ 地震があり数人の死 スで、関西で大きな

横須賀日日新聞 第38号 2015年5月3日 あなたが地域の主人公

テーマ:忘れ得ぬ日から (震災から始まった顔の見える関係づくり)

※許可を得て掲載しています。

日新

2015年5月3日

1

その時、どこで何をして 忘れられない日が

いたか。 ある。

という不安感を今も覚えて んでもないことが起こった

では対応できない、 規模災害には行政の力だけ PO) 法ができ、全国の自 だ。特定非営利活動促進(N ランティアや市民組織の力 が必要だと思い知ったから 市民ホ

いる。 違う大都市直下型地震だっ 日本大震災とは全く様相の 千400人超。4年前の東 顔の見える関係づくり 阪神淡路大震災—死者6 治体が競うように市民活動

郊まで電車で来て、そこか ができた。全国から発生後 ら徒歩で被災地に入ること 直下型であったため近

ラジオの臨時ニュー 車を運転していた。 にもかかわらず私は

20年前の1月17日、

早朝

は横須賀基督教社会館の館 を整えた。中心となったの (当時) ぐ

ランティアが集まった。

この年は、

後に

ボラン

3カ月で100万人超のボ

を支援する条例、 活動の拠点をつくっていっ 協働を目指す条例、 市民との そして

健福祉大学の初代学長・阿 横須賀市はいち早く準備 後の県立保



所体験(同ネットワーク提供)17、18日に市立夏島小で催した寒冷期避難17、18日に市立夏島小で催した寒冷期避難災害ボランティアネットワークがことし1月大人も子どもも「新し…

アネットワーク」を立ち上 祉協議会、生協などが集ま 部志郎さん。民間ではYM り、「横須賀災害ボランティ CA、青年会議所、 社会福

市立市民活動サポートセン づくりが検討され、 になっていた。 そして市民協働での拠点

横須賀

げており、

市民

活動の中心

間組織の役割は大きい。

私

時に役立つ顔の見える関係

たちの最大の役割は、災害

ら公設民営 2年後には公設公営か 11) 年に設立された。 ターが19 99 (平成

横須賀災害ボラン となり、現

た。そこでの市民、民 て震災時の 野克彦さん トワークの

(横須賀市立市民活動サポート

役割が皆に見えてき 新潟県中越地震を経験 は「阪神淡路大震災、 現代表・鷹 ティアネッ 在に至っている。 企業も含め し、行政と民間そして

を常に作っておくこと」と

てて行きたい。 そうとする。尊い犠牲の中 中からなんとか未来を見出 悲惨な状況の中でも、人は な意味を持つ。災害という の流れの中で、災害は大き から生まれた道を大切に育 新しい道を模索し、絶望の ボランティア・市民活動

な文化、海と山が密接した センター館長・高橋 亮) 横須賀には歴史的に特異

目然環境、首都圏からの適

筆者はこんな人

NPOが市民社会で大きな役割を担っている ことに触発され、多様な主体による地域連携 を使命として活動中。

震災後に「今わたしたちにできること」緊急集会、児 童虐待防止「朗読劇ハッピーバースデー」公演、職業上の スキルで社会貢献する「プロボノ」導入、県共催「企業 ×NPO×大学パートナーシップミーティング」、市共催「生 涯現役フォーラム」などをコーディネートしてきた。55歳。

役となる〝文化〞を育てた 文化が育っています。 ら豊かで多岐にわたる市民 度な距離感があり、そこか **沽動を紹介していきます。** この連載では、市民が主 2010年から、館長。北米YMCA研修で、